

2020 年度島根大学大学院
教育学研究科入試問題（I 期）
《臨床心理専攻（修士課程）》
専門科目

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 3 枚，解答用紙 3 枚，下書き用紙 1 枚である。

指示があってから確認し，解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は，解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は，持ち帰ること。

受験番号

《臨床心理専攻》

専門科目

問題

1. 以下の用語について、それぞれ最も関連が深いと思われる単語を以下の語群からひとつ選んで記号で答えなさい。

- (1) Y-G 性格検査
- (2) WISC-IV
- (3) 内田クレペリン検査
- (4) ロールシャッハテスト
- (5) 実験衝動診断学

<語群>

ア. IQ	イ. Exner JE	ウ. PIQ	エ. 交流分析	オ. FSIQ
カ. J.M. Dusay	キ. 初頭努力	ク. J.P. Guilford	ケ. L. Szondi	コ. F.L. Goodenough
サ. E. Kretschmer	シ. 循環気質			

2. 子どもの心理臨床に関して、以下の問いに答えなさい。

- (1) A. Freud と M. Klein における子どもの心理療法に対する考え方の違いを説明しなさい。
- (2) D.M. Kalff は、箱庭療法の基礎を作った人物である。D.M. Kalff は、箱庭をすることの治療的意義をどのように考えていたか。説明しなさい。
- (3) V. M. Axline は、遊戯療法（プレイセラピー）におけるセラピストの基本姿勢として八つの基本原理を提案した。そのうち「制限」はなぜ設ける必要があるのか。説明しなさい。
- (4) D.W. Winnicott が述べる「移行対象」とはどのような概念か。説明しなさい。
- (5) H.S. Sullivan が述べる「チャムシップ」とはどのような概念か。説明しなさい。

《臨床心理専攻》

専門科目

問題

3. 以下の事例の記述をふまえた上で設問に答えよ。

あなたは心理相談室のカウンセラーとして、中学3年生の女子(A)を担当することになりました。Aは1学期末に持病の a. 喘息が悪化し欠席していましたが、症状がよくなってからも終業式まで3週間、学校を休みました。心配した両親の勧めによって来談することになり、夏休みの最終週に初回面接が設定されました。

初回面接では、Aは自分から積極的に話をしてくれました。興味関心の幅が広く、コミュニケーション能力の高さがうかがわれるAですが、アニメやゲーム等、好きなものの話をすると際限なく、やや一方的に話す様子が、カウンセラーとしては少し気になりました。あなたは、Aが語るエピソードについて、そのときのAの心情やそのように考えた理由について尋ねますが、Aは「すごいと思った」「ビックリした」という応答が返ってくるのがほとんどでした。

また、Aは面接室にあった箱庭療法の用具に興味を示し、「これ何ですか?」と尋ねてきました。あなたはAにく①)と言って、説明しました。Aは「やってみたーい!」と言って制作し、5分ほどしたところで「できました!これ、スマホ(スマートフォン)で写真撮っていいですか?」と聞いてきました。あなたはAにく②)と答えました。

気がつくやうに、終了の時間が来ました。 b. あなたは、カウンセラーとして初回面接だからこそ聞いておきたいと思って準備していたことが聞けないままでしたが、Aに対して次回の面接を提案すると、Aはすんなりと同意しました。

問1. 下線a.について

喘息は身体の疾患ですが、心理的要因が症状に影響を与える場合もあります。そういった状態像について、何と総称するでしょうか。また、あなたが答えたその総称されるものについて、あなたの知り得る事柄を出来るだけ詳しく説明しなさい。

問2. ①におけるカウンセラーの発言について、あなたならどのように伝えますか。具体的な文言を口語体で述べなさい。

問3. (1) ②におけるカウンセラーの発言について、あなたならどのように伝えますか。具体的な文言を口語体で述べなさい。

(2) ②におけるカウンセラーの発言に関して、Aにそのように伝えた理由や意図について出来るだけ詳しく述べなさい。

問4. 下線b.について

一般に、初回面接において聞いておきたいこととはどんな事柄がありえるでしょうか。想定しうる限り、詳しく述べなさい。また、その理由や意図についても出来るだけ詳しく述べなさい。

4. 以下の事例の記述をふまえた上で設問に答えよ。

あなたは、小学校のスクールカウンセラーです。小学 5 年生の担任教師から、クラスの女子(B)が、ここ 2 ヶ月くらい授業中にボーッとしたり居眠りをしたりするようになったことを心配している、と相談されました。一度、保健室で B が眠っていたときに、「誰もいないかと思った」と泣きながら起き出してくることがあったのですが、教師が B に声をかけても「ちょっと寝ぼけただけ。大丈夫。」という答えが帰ってきたそうです。教師は、保護者にも B の様子を伝えたのですが、家庭でも特に思い当たる問題はなかったようです。B は穏やかな優しい子で、これまで学業や友人関係に特別な問題は見られませんでした。教師のコーディネートによって、あなたは B の話を聞いてみることにになりました。

相談室を訪れた B は、ソファに座り、どこか不安そうな様子で周囲を見回していました。あなたが〈今日はどういうことで来てくれたかな?〉と尋ねると、B は困ったように首を傾げて黙ってしまいました。そこで、あなたは〈 ① 〉と声をかけました。

面接時間が残り 5 分となったとき、B は、「そういえば……夜、怖くて眠れないことがある」と話し始めました。B によると、小学 4 年生から自分の部屋で一人で寝ていたのに、3 ヶ月くらい前、寝ようと思って目を閉じると、急に自分の呼吸音が気になって、落ち着かなくなったそうです。それ以来、呼吸数を数えているうちに、「自分はなんで息をしているのか」「急に息が止まってしまったらどうしよう」と思えて、眠るのが怖くてたまらなくなることがあると言います。そういうとき、B はお父さん・お母さんと一緒に寝たいけど、二人とも忙しいから言い出せないのだそうです。あなたが、B に怖くなったきっかけを尋ねると、「分かんない…。昼間は怖い忘れちゃってるし…」という答えが返ってきました。②ちょうどそのときに面接時間が終了しました。

- 問 1. (1) ①におけるカウンセラーの発言について、あなたならどのように声をかけますか。具体的な文言を口語体で記述しなさい。
(2) ①におけるカウンセラーの発言について、B にそのように伝えた意図を説明しなさい。
- 問 2. (1) 下線部②のあと、あなたならどのように B に対応しますか。具体的な対応を記述しなさい。
(2) 問 2 であなたが解答した対応について、B にそのように対応した意図を説明しなさい。
- 問 3. B の心理的課題を見立てなさい。